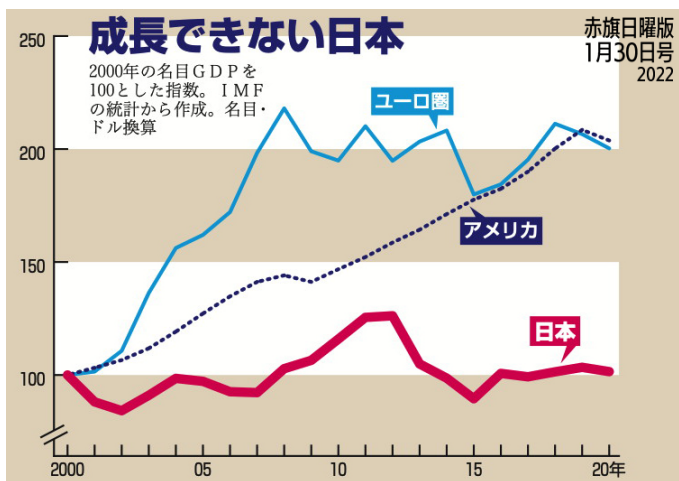
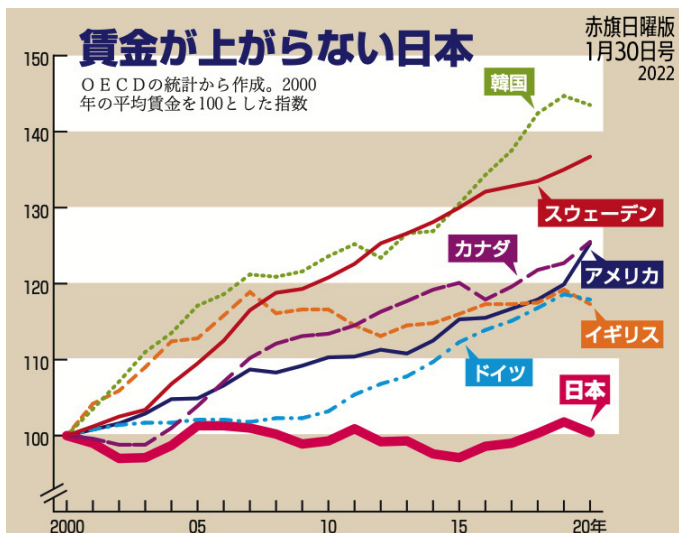


経済再生のカギ—賃上げと社会保障

日本共産党



歴代の自民党政権は、財界の要求にこたえて労働法制の規制緩和、社会保障費の連続削減、大企業・富裕層減税と一体の消費税連続増税など、新自由主義的政策をおこなってきた。大企業は労働者をモノのように切り捨て、技術開発の土台を自ら破壊し、いっそうの経営悪化への悪循環をつくりだしました。その結果、日本経済は「もろく弱い経済」となり、日本を「賃金が上がらない国」「成長できない国」「競争力が弱い国」にしてしまいま

格差が広がって富が一部にかたまり、経済全体にお金が回らない、そのために経済も成長もできない。自民党政権のもとではこの悪循環を断ち切ることはできません。賃金を上げ、社会保障を立て直して将来不安をなくしていくようにすれば、結果的にお金が世の中全体に回って経済も成長していきます。

● 大企業の内部留保の活用で大幅な賃金の引き上げ
 ● 非正規から正社員へ、

人に冷たく弱い日本経済から「やさしく強い経済」への転換—日本共産党の提案



スクープ連発、新しい政治への希望がわく
「しんぶん赤旗」日曜版
1カ月お試しキャンペーン

無料で「赤旗」日曜版を一カ月お届けします。ぜひ試しに読んでみてください。

● 待遇格差の是正に最賃1500円を